



かけがえのない地球、皆で守ろう  
-小学生向け出前講座「アイシン環境学習プログラム」を開催-  
(2010年07月02日)

当社は、6月28日(月)、29日(火)の2日間、刈谷市立朝日小学校の6年生 約130名を対象に、「環境出前講座」を開催しました。

今回実施した講座は「世界がもし100人の村だったら」をベースにしたワークショップで、世界の格差や多様性、命をつなぐ大切さを学び、助け合いの心を育むものです。

「役割カード」を使ったゲームを通じて、児童たちに世界の人口分布・密度、貧富格差による食料自給率の違いなどについて体感し、理解を深めてもらいました。

さらに、森林破壊など世界の現状に目を向ける大切さを感じるとともに、こうした問題に対し自分たちにできることを考え、話し合い、グループ毎に発表・宣言することで、「エコアクション(実践)」にもつなげてもらうことができました。

「アイシン環境学習プログラム」は、児童たちが環境について学んだことを具体的な行動として地域へ発信することを目標に、2006年度からアイシングループの拠点がある市町村の小学校の総合学習支援として行っているもので、今回の講座はそのプログラムの1つです。

この学習プログラムは、「学び(座学)」、「感じる(体験)」、「エコアクション(実践)」などを約半年にわたり学習し、その成果を「エコトークセッション」として発表するもので、学校の課題や自然環境等に応じた内容を提供するのが特長です。

2010年度はこの出前講座の他に、グループ会社のアイシン・エイ・ダブリュ株式会社と協働で、刈谷、安城、半田、西尾など9市を対象に、約20校で計80講座を実施する予定です。

アイシンは今後も良き企業市民として、子供たちへの環境教育や森林整備など地域の環境保全につながる活動に、地域の皆様とともに取り組んでいきます。

### <概要>

1. 実施日： 2010年6月28日(月)、6月29日(火)
2. 場 所： 刈谷市立朝日小学校 (刈谷市野田町)
3. 参加者： 6年生の児童 133名
4. 講 師： 今井 光代さん (エコプラットフォーム東海)
5. 内 容： ワークショップ「100人の村」(座学)  
世界の格差や多様性を知り、自然環境や命の大切さを体感する



各大陸の面積に応じたロープに入り、人口密度を体感



1枚のクッキーを数人で分けあうことで 貧しい国の低い自給率を実感



環境を守るために今日から実践できることを話し合い、発表する児童たち

<関連リンク [アイシン精機の企業市民活動](#)>